

名古屋市老人クラブ通信

第69号

なごやかひろば

発行 なごやかクラブ名古屋
 (公社)名古屋市老人クラブ連合会
 〒462-0844 名古屋市北区清水四丁目17-1
 名古屋市総合社会福祉会館6階
 TEL.052-991-7734 FAX.052-991-7581
 http://www.nagoyarouren.com

制作 (株)博報社 名古屋支社
 〒462-0843 名古屋市北区田幡二丁目13-23 2F-B
 ☎0120-0212-09

毎年1・4・7・10月発行 発行部数7万5千部



天寿会「フラダンス」



ふるさとの四季「コーラス」



令和4年度 なごやかクラブ研修会



名古屋敬愛会「吹正琴」



味碗むつみ会「銭太鼓」

12月16日、令和4年度なごやかクラブ研修会が日本特殊陶業市民会館フォレストホールにおいて開催されました。各単位クラブより、620名が参加。

開会のあいさつ後、北区老連・千種区老連による「芸能発表」が行われました。躍動感ある素晴らしい舞台上から惜しみない拍手。笑顔が溢れ、あたたかな雰囲気にも包まれました。

◆講演要旨
 人生会議のすすめかた
 —千種区版
 エンディング
 ノートを中心に—

医療法人豊隆会 ちくさ病院
 理事長 加藤豊氏

あなたは「もしものこと」を考えたことがありますか。自身の希望や価値観は、その後の生活や医療・ケアを受けるために、とても重要な役割を果たします。約70%以上の方は人生の最終段階で医療に関する意思を表明できないそうです。

望む医療やケアについて前もって考え、大切な人と繰り返し話し合い、共有する取り組みを「人生会議（ACP：アドバ

人生会議を進めるきっかけになるよう、千種区版エンディングノート「私の想いをつないで帳」を作成しました。目的は次の通りです。

- (1)セカンドライフを考える（人生を振り返り、これからの時間を考える）
- (2)人生の最終段階を考える（医療や介護が必要になったときに意思表示の方法や希望などを考える）
- (3)大切な人と語り合う（相談しにくいことも含め、気軽に語り合う）



「六十九」

なごやか
彩時季

シリーズ

港区 延命地藏尊
 ~港区新茶屋五丁目~



加藤豊氏

このように人生の最終段階について考え、周囲の信頼する人たちに共有することが重要です。今回の紹介事例を参考に、自分に合ったエンディングノートを作成してみませんか。心身の状態に応じて、意思は変化します。何度でも繰り返し考え、話し合いましょう。

このお地藏さまは「あいちのむかしばなし」の中に「お高しぞう」として掲載されている。

■交通 市バス「新茶屋」下車、西へ徒歩10分

港区の西部、旧南陽地区はいまだ田園風景が広がっている。そのまた西方、福田川左岸堤防付近に樹木が茂り、道路より3メートルほど盛り上げられた場所に「高地蔵」と呼ばれる延命地藏尊が祭られている。

ときは宝暦13年（1763年）の暴風雨の際、この地の海岸に尊き木造仏が流れ着いた。村中協議の上、福田川の堤防にお堂を建立し、村中安全、五穀豊穡、武運長久、大病小病全快の大供養を執行した。

この仏像は貞享5年（1688年）に八事山興正寺を開山した天瑞円照大和尚（初代管長）自作の木造仏といわれ、地藏尊としては珍しく腰掛けたお姿である。